

150周年関連事業

150周年を記念して幅広い層に向けて様々な事業を展開しました。

小中学生に税関の仕事や貿易を知ってもらえるよう子供用制服を着用した職業体験や絵画コンクールを開催しました。



税金の計算業務を体験



「神戸から世界へ」  
神戸市立塩屋中学校 3年  
高宗 宗一郎  
(兵庫県)



「世界の船」  
西宮市立南甲子園小学校 5年  
内藤 樹那  
(兵庫県)

小中学生絵画コンクール 財務大臣賞受賞作品

大学生に国際物流や世界経済と絡めて税関の役割について学んでもらえるようフォーラムを開催しました。



幅広く税関の歴史や業務を知ってもらえるよう職員のガイド付きで税関ゆかりの史跡を巡るツアーや、パネル展など様々なイベントを開催しました。



メディアや税関ホームページなどを通じて税関について広報活動を行いました。

著名人を広報大使に委嘱しメディアを通じてPRしました。



タレント・斉藤慎二さん、女優・高田夏帆さん



元プロ野球選手・岩瀬仁紀さん

税関と同じく150周年を迎えた企業とともに、各社の歴史と未来に向けた動画をJR東日本の電車内（一部路線）において放映しました。



ポスター、ロゴマーク

税関発足150周年特設サイト開設



150周年記念動画



水際で守る 日本の未来

メインカラーの青色は、空と海の物流、そして信頼をイメージしています。また、円を形作る3本の流れは、過去、現在、未来であり、時代を超えた社会の流れを表現しています。ロゴマークの中心には、身を守る盾を置き、国民の安全と安心を守る税関を象徴するとともに、3つの桜が税関の使命（安全・安心な社会の実現、適正・公平な関税等の徴収、貿易の円滑化）を示しています。また、税関のメッセージとして、キャッチコピー「水際で守る 日本の未来」を併記しています。

その他



特殊切手

お土産袋



プルーフ貨幣セット





# 税関発足 150周年 記念式典

令和4(2022)年11月28日、税関の発足から150周年を記念した式典を挙行了しました。

式典には、秋篠宮皇嗣同妃両殿下がご臨席されました。また、現役税関職員や職員OBのほか、国会議員や在京大使、税関行政に関する団体の役員等、多くの各界関係者にご列席いただきました。

税関発足150周年記念式典の様相 (パレスホテル東京)



宣誓 税関職員代表



開式・閉式の辞 諏訪園健司 関税局長



秋篠宮皇嗣同妃両殿下 ご臨席



式辞 秋野公造 財務副大臣



来賓祝辞 麻生太郎 前財務大臣



来賓祝辞 御厨邦雄  
世界税関機構(WCO)事務総局長



大型 X 線検査装置及び画像解析



商業貨物検査ご視察



入国者の手荷物検査ご視察



麻薬探知犬デモンストレーション

令和4(2022)年9月14日、秋篠宮皇嗣同妃両殿下は、税関の現場をご視察されました。ご視察の先々で熱心にご質問をされるなど、税関の役割を知っていただく得難い機会となりました。

## 秋篠宮皇嗣同妃両殿下の税関ご視察



## 秋篠宮 皇嗣殿下 おことば

本日、「税関発足 150 周年記念式典」が開催され、この場にお集まりの皆様、また、画面を通して、全国 9 つの税関で職務に精励されている皆様とともにお祝いできますことを誠に嬉しく思います。

日本の税関の歴史を振り返りますと、1858 年に欧米 5 ヶ国との修好通商条約が締結され、その翌年に箱館と横浜、そして長崎の港に運上所が置かれたことに始まります。そして 150 年前の本日、全国に設けられていた運上소가、現在の税関へとその名称が統一されるに至りました。

この時以来、我が国は、諸外国との貿易を通じて産業を盛んにし、国民生活を豊かにするなど、目覚ましい発展を遂げてきました。この間、税関は、関税等の適正な徴収や密輸の厳格な取締り、貿易の円滑化を推進し、人々が安全で安心して暮らせる社会の実現と、貿易を通じた経済発展に大きく貢献してきました。

私は過日、そのような税関の現場を見学する機会を得ました。その際、日々世界中から届く膨大な数の郵便物や船舶によってコンテナで運ばれてくる貨物、そして外国から入国する旅客の手荷物に不正な薬物や知的財産を侵害するようなものが隠されていないかを検査していることなどについて説明を受けました。そして、職員一人一人が真剣に検査をする様子を間近に見、高度な専門知識と経験を活かし、懸命に仕事に励んでおられる姿が強く印象に残りました。皆様が日々士気高く職務を遂行されることによって、人々の安寧な暮らしが築かれていることを再認識した 1 日であり、そのたゆみない努力に深く敬意を表します。

島国である日本において、水際を守る税関の役割は重要であり続けます。その役割を果たすため、税関は、150 年の長きにわたって、社会や経済の変化に的確に対応してきました。これからも、その歴史の上に立ち、新たな取り組みも進めながら、社会的使命を果たしていかれることを期待しております。

おわりに、税関が発足してから 150 年を迎える年にあたり、職員の皆様が、今後とも職務に精励され、国民からの信頼や国内外の期待に引き続き応えていかれることを祈念し、本式典に寄せる言葉といたします。